【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2008-227346(P2008-227346A)
【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-038
【出願番号】特願2007-66406(P2007-66406)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　31/09　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　31/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月5日(2009.11.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
（実施例３）
実施例１において、原材料として、$Sb_{20}S_{80}$の代わりに平均組成$Sb_{38}S_{62}$組成の硫化アンチモンを用いたこと以外は、実施例１と同様にして放射線検出装置を作製した。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
結果を表１に示す。
表１から明らかなように、組成を化学量論組成に対してＳの含量が３％以上多い実施例１～３は、化学量論組成の比較例１にくらべて、ａ－Ｓｅ層界面の結晶化が起こりにくいことがわかる。また、Ａｕ電極と電荷輸送層の密着性についても、実施例１～３は、比較例１に比べて優れていることが看取される。
【表１】

	電荷輸送層の組成		a－Se層の結晶化	Au電極の剥離
	a-Seとの界面	Au電極との界面		
実施例１	$Sb_{22}S_{78}$	$Sb_{23}S_{77}$	◎	19/20
実施例２	$Sb_{33}S_{67}$	$Sb_{34}S_{66}$	◎	19/20
実施例３	$Sb_{38}S_{62}$	$Sb_{38}S_{62}$	○	15/20
比較例１	$Sb_{40}S_{60}$	$Sb_{41}S_{59}$	△	10/20

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】

結果を表２に示す。
表２から明らかなように、化学量論組成に対してＳの含量が３％以上多い実施例４および５は、化学量論組成の比較例２に比べて、ＩＺＯ電極からの剥離が起こりにくいことがわかる。
【表２】

	電荷輸送層の組成		剥離
	IZO 電極との界面	a-Se との界面	
実施例 4	$Sb_{22}S_{78}$	$Sb_{24}S_{76}$	剥離なし
実施例 5	$Sb_{33}S_{67}$	$Sb_{35}S_{65}$	剥離なし
比較例 2	$Sb_{40}S_{60}$	$Sb_{41}S_{59}$	剥離多い